



「被害想定から耐震改修と自己がナンセンスな作業になりかねないし、神

戸であったように「ピロティ部分が座屈すると、中間階がまるまる押しつぶされることなど、

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

防災管理制度への期待

その2

と出火危険のある部分が限られており、あらかじめ見当がつく場合が多い。社員食堂の厨房、化学薬品の保管場所、ガスや危険物のある場所、電気配線が密集している場所、たばこの吸殻を回収・集積している場所など。それらの場所を担当する消火班を編成しておく、地震後すぐに見回って火災が発生していたら消火する、などとしておけば、地震による出火にはかなり対応できるはずだ。

地震でスプリンクラーが破損した場合の火災対応こそ、防災管理制度の真骨頂が発揮されるケースだ、と言ってもいいかも知れない。

「NBCR災害への対応」

「NBCR災害への対応」

「NBCR災害への対応」

「NBCR災害への対応」

「NBCR災害への対応」

「NBCR災害への対応」

「NBCR災害への対応」

「NBCR災害への対応」

「NBCR災害への対応」

「NBCR災害への対応」

「NBCR災害への対応」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」

「超高層ビルで地震火災」